

蓮を活用した高付加価値製品化による事業化に向けた基礎調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社 黄河
- 代表企業所在地：福岡県糸島市
- サイト：ベトナム（ドンタップとフーンエン省周辺）



ベトナム国の開発課題

デルタ地域を中心に全国的規模で蓮が栽培されている。蓮の実以外はその殆どが廃棄されている。栽培農家の収入も加工場の稼働率も低水準に留まったままであり、蓮の未利用部位を有効活用する事による高付加価値素材への転換技術の移転が強く望まれている。

中小企業の製品・技術

当社はハーブ蒸留器の製造技術を持っている。小型から、特注大型モデルの各サイズの製品と製造技術があり、アロマオイルの芳香成分分析ノウハウやアロマ関連商品開発のコンサルティングで培ったオイル抽出・蒸留技術を活かした素材の現地生産が可能。

日本の中小企業の事業戦略

- ・蓮栽培農家から原料（花と葉）を調達し、日本からの技術を近隣加工場を移転する事による蓮ベースの高付加価値アロマ素材の開発を進め、日本、アジア、欧州などへの輸出拡大を図る。
- ・当社の蒸留技術とアロマ商品開発のノウハウをもって、現地蓮栽培農園と加工場の運営と就労者教育、並びに商品開発を支援する継続的な事業協力によって、現地産業の育成が図っていけると考えている。

中小企業の事業展開を通じて期待される開発効果

蓮からの高付加価値製品の開発、及び海外輸出を目指す効率的な蓮栽培経営によって、栽培農家の所得向上、地域の就労機会の増大等、農村近郊地域の経済基盤の安定化が図れる。対象地域住民の生活改善に寄与する事を通して地域の活性化に資すると期待しています。